

浪速区 人権を考える区民のつどい 映画上映会



昭和20年、広島・呉。
わたしはここで生きている。

この世界の片隅に
(字幕付き)

© 2019この時代の時代・コアミックス / 「この世界の片隅に」製作委員会

とき 令和4(2022)年 **8月20日(土)**

入場無料

申込不要

午後1時40分～(午後0時30分開場)

ところ **難波元町小学校講堂**(大阪市浪速区元町1-5-30)

定員 **340名**(当日先着順)

- ・当日、直接会場へお越しください。
- ・公共交通機関をご利用ください。
(お車でのご来場はご遠慮ください。)



問合せ先：浪速区役所市民協働課（教育・学習支援担当）

電話：(06)6647-9743 FAX：(06)6633-8270

主 催：浪速区役所・浪速区人権啓発推進協議会

☆新型コロナウイルス等感染症予防対策の一環として、以下にご協力ください。

1. 会場入場時にアルコール消毒等手洗いにご協力ください。 2. マスクを着用してご参加ください。

3. 当日、発熱や風邪のような症状のある方につきましては参加をお控えください。

新型コロナウイルス感染症拡大状況によりましては、本上映会を中止または延期とさせていただきます。予めご了承ください。

☆上映会の開催中止について

「大阪市域」に「暴風警報」または「特別警報」が午前10時の時点で発令されている場合、もしくは地震等で大阪環状線とOsaka Metroの双方が運行を停止した場合、上映会は中止とさせていただきます。

知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!
感染拡大
— COVID-19 —



STORY

1944(昭和19)年2月。18歳のすずは、突然の縁談で軍港の街・呉へとお嫁に行くことになる。新しい家族には、夫・周作、そして周作の両親や義姉・徑子、姪・晴美。配給物資がだんだん減っていく中でも、すずは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日のくらしを積み重ねていく。

1945(昭和20)年3月。呉は、空を埋め尽くすほどの艦載機による空襲にさらされ、すずが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日は続く。そして、昭和20年の夏がやってくる……。

「この映画が見たい」の声が生んだ、100年先に伝えたい珠玉のアニメーション

クラウドファンディングで3,374名のサポーターから39,121,920円の制作資金を集めた本作。

日本全国からの「この映画が見たい」という声に支えられ完成した「この世界の片隅に」は、長く、深く、多くの人の心に火を灯し続けることでしょう。100年先にも愛され続ける映画が、ここに誕生しました。

のん

細谷佳正 稲葉菜月 尾身美詞

小野大輔 潘めぐみ 岩井七世 牛山茂 新谷真弓/澁谷天外(特別出演)

原作：こうの史代「この世界の片隅に」(双葉社刊) / 企画：丸山正雄

監督補・画面構成：浦谷千恵 キャラクターデザイン・作画監督：松原秀典 / 美術監督：林孝輔 / 音楽：コトリンゴ

プロデューサー：真木太郎 / 監督・脚本：片淵須直

製作統括：GENCO / アニメーション制作：MAPPA / 配給：東京テアトル / 製作：「この世界の片隅に」製作委員会

助成：文部科学省文化庁文化芸術振興費補助金

konosekai.jp @konosekai_movie @konosekai.movie

© こうの史代・双葉社 / 「この世界の片隅に」製作委員会